

## 5 21 新記録が23件! 安曇野市小・中学生陸上大会

第3回安曇野市小・中学生陸上競技大会が5月21日、信州スカイパーク陸上競技場で開かれました。

この大会は、昨年まで郡大会として開かれていましたが、市の大会として、市内の小中学校が一堂に揃うのは今回が初めてとなりました。各校の陸上部や選抜選手など482人の選手が、トラック競技やフィールド競技で、日ごろの練習の成果を競いました。

この日は、小学生で3件、中学生で20件の新記録・タイ記録が樹立されました。



市の大会として各校が揃うのは今回が初めて



約500種800株と豊富な種類のバラが植えられている

## 5 27 花を咲かせたバラ園の活動

安曇野市豊科近代美術館は5月27日から6月4日まで第6回バラ祭りを開催しました。美術館の庭園には、約500種800株のバラが植えられ、赤や白、黄色などの花が鮮やかに咲き誇り、訪れた人を楽しませました。

27日は、松本交響楽団の嘉納雅彦さんによるチェロの演奏会やバラの苗などの販売、28日には、信州大学のマンドリンオーケストラの演奏会やバラの手入れ講習会が行われました。また、バラ園や花壇の手入れを手伝っている同美術館友の

会は、このほど花と緑の愛護に功績があったとして国土交通大臣表彰を受賞しました。愛知県一宮市で開かれた表彰式に出席した前友の会会長の白井国明さんは「美術館、地域、友の会の連携が評価されたのだと思う」と話してくれました。

## 5 30 自然の姿を知り、 自然を愛する心を育て10年



田淵行男記念館で5月30日から「むしの会10年間の記録展」が開かれました。こども自然観察教室「むしの会」は、田淵行男が好んだチョウや植物などについて学び、自然の姿を理解し、自然を愛する心を育成することを目的に平成7年に開講しました。発足当初は40

人だった会員数は現在140人となり、昆虫採集や化石採集などの活動を年10回ほど行っています。記録展では、会員が作成した標本やスナップ写真が展示され、子どもたちが安曇野を駆け巡り、生き生きとした表情でチョウなどを追う姿が映し出されていました。

安心して自然と遊べる場を提供（昨年活動の様子）

## 5 11 安曇野の財産に感謝 「お水迎え」

安曇野を潤す北アルプスの雪解け水に感謝するお水迎え神事が5月11日、梓川・穂高川・高瀬川の三川が合流する明科の犀川河川敷で行われました。この日は、市内5地域の観光協会や商工会の関係者など、約40人が参加。参加者は、ひしゃくで川の水をすくい、樽に納め、穂高神社に奉納しました。平林市長は「安曇野の素晴らしい財産である水、川の流れをこれからも生かしていきたい」とあいさつしました。



安曇野を潤す水「お迎え」する

## 5 14 交通安全の願い カーネーションに託す

安曇野交通安全協会は5月14日、母の日に合わせて市内3カ所でドライバーにカーネーションを手渡し、交通安全を呼び掛けました。JR明科駅前では、明科区育成会の子どもたちと安協の会員など50人が参加して、信号待ちをするドライバーにカーネーションを手渡しました。ドライバーは、子どもたちが手渡す思わぬプレゼントを笑顔で受けとっていました。



「安全運転をお願いします」

## 6 3 花を育て訪れる人を歓迎

「アルプス花街道」の植栽作業が6月3日、豊科IC南の県道などで始まりました。この事業は街道に花を育て、安曇野を訪れる人を歓迎しようと旧豊科町で平成8年から始まったもので、同実行委員会が運営しています。今年は穂高・堀金の団体が加わり、取り組みの輪がさらに広がりました。



「お花が咲くのが楽しみ」

## 5 14 国際交流の充実を目指して

安曇野市国際交流協会総会が5月14日、三郷公民館で開かれ、会員など約30人が参加しました。この日は市内全域に会員を増やすための年会費無料化が承認されたほか国際交流に関する活動を行う団体などに補助を行うことなどが決められました。総会後は、中国出身の山東房子さんの講演会と楊巧鳳さんを招いての太極拳の体験教室も行われました。



太極拳を体験